

プレスリリース

2012年11月

新モジュール：Reality-Checkを活用し 衝突回避が可能になります

プログラムで使用した工具寸法と実際に使用した工具寸法が違うので、加工中に衝突を起こし、巨額の費用が発生したような経験はございませんか？このような状況を防止するために、ZOLLER は「tool realityCheck」を提供致します。

加工中の衝突を避けるために、オペレーターはシングルモードで確認操作を行っています。

近年では、このような状況を避けるために、シミュレーションシステムが活用されています。しかし、シミュレーションの工具基本情報は実際の工具と合わないことがよくありますが、この問題を「tool realityCheck」で解決することが可能です。

特に工具や金型の製造業界では、NC プログラムの作成からマシニングセンターにおける工具設定まで多くの時間がかかります。従って、工具を「実際に」使用する前に、実際の工具データによるシミュレーションを行う必要があります。

衝突を回避します

ZOLLER は「tool realityCheck」ソフトウェアモジュールをリリース致しました。素早い衝突検査を可能とし、実際の工具がシミュレーション工具と一致するか判断します。実際の加工プロセスをシミュレートするために、回転中の工具の実際輪郭を測定します。

検査により、衝突回避が可能になります。

瞬時に分析、効果が一目瞭然

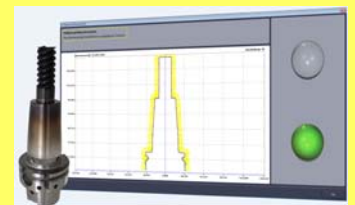
オペレーターは工具輪郭の起点と終点のみを入力します。測定プログラムは起点から終点まで自動で移動して、工具回転中に工具の輪郭を記録します。その後、実際データ/公称データの対比結果や衝突検査結果がスクリーンに表示されます。「緑色」は「スタート」を意味し、加工作業を行え、「赤色」は「衝突が発生、注意してください」を意味します。結果が明らかに表示され、俊敏な操作を実現し、効果が一目瞭然です。

「tool realityCheck」は、ZOLLERのCNC制御型ツールプリセッターと測定設備に適用します。

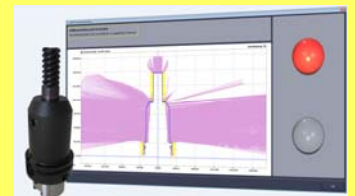
ZOLLER Japan 株式会社
564-0037 大阪府吹田市
川岸町 5 番 14 号
www.zoller-jp.com

Phl. 06 - 6170 - 2355
Fax 06 - 6381 - 1310
Email: info@zoller-jp.com

「tool realityCheck」
衝突回避が可能になります



緑色は「スタート」：加工開始できます



赤色は「ストップ」：衝突が発生します、注意してください。



「venturion 450」：tool realityCheck」ソフトウェアモジュールは、ZOLLERのCNC制御型ツールプリセッターと測定設備に適用します

www.zoller-jp.com